

平成10年8月(1998年) No. 392

高野山撮影会作品コンペは 前田茂夫氏が最優秀賞

会長 合原一夫

7月例会では、高野山撮影会作品の公開審査で出席者全員の1人3票の持ち点で互選した結果、別項のとおり優秀作品が5本選出されました。撮影会作品では毎回トップ賞を受賞をしておられる前田茂夫氏が今回も最優秀賞に選ばれました。その他僅差で安居良枝さんと合原一夫氏の同点2位が、続いて今井羨美氏と関剛氏の作品が同点4位が選出されましたが、その他の方々の作品も十分に個性を發揮されて良い作品ばかりであったように思います。とにかく18名の参加者のうち、15名の方が出品されたことは驚きでありうれしい限りでした。

参加されなかった方、出品されなかった方も同じ題材で撮影の仕方、ねらい、構成選曲の如何によって、いかに作品が違ってくるか、大変勉強になったのではないかと考えます。いずれの作品も他のクラブへもっていっても充分観賞に耐えうる作品ばかりであったという印象です。なお、最優秀賞に選ばれた前田作品はOMCの映像フェスティバルで一般に公開される予定です。

次回の撮影会の予定地について希望なり推薦地がありましたら、世話役までお聞かせください。準備期間は十分にあったほうがよいので、よろしく願います。

8月例会のお知らせ

8月例会は22日(第4土曜日)18時より、阿倍野市民学習センターにて。まだ残暑厳しいときですが、例会場は冷房が効いています。避暑を兼ねて?どうぞ例会場へお越し下さい。先月は高野山撮影会作品公開審査日で一般作品の上映が出来ませんでしたので、今月は多くの作品が期待出来そうです。お早めにお出かけ下さい。なお、OMC映像フェスティバルが11月最終日曜日に予定されており、9月例会までの出品作より14~15本程度選出します。新人のかたの作品を期待しております。

7月例会のレポート

暑い7月例会日は、あいにく天神祭の船渡御の日と重なり、集まりが心配されましたが、そこはビデオファンの面々、お祭りより例会の方を選んで下さり、何とお客さんを入れて26名の大量入り、椅子が足りないので別室より調達してくる始末でした。今月は高野山撮影会作品の公開審査日ということもあって期待が高まったのかもしれませんが、今月は新しく、次の方が入会されました。

■新入会者紹介

戎本武彦さん 〒639-0223 香芝市真美ヶ丘6-9-6-301 TEL 07457-8-3884

■今月のお客様

吉岡貞夫さん
武本 弘さん

元フジビデオサークル大阪の世話役、OMCに入会勧誘中！
日本アマチュア映像作家連盟の会員で、和歌山市にお住まいの映像作家、今月が高野山撮影会作品の公開審査日ということを知られて、わざわざ和歌山市よりかけつけてくださいました。何のおかまいもできず失礼しました。本当に有り難うございました。

■今月の例会出席者（敬称略）：有村、今井、岩井、江村、岡本、奥、上総、勝、金子、合原、越本、関、田邑、中尾、花岡、前田、増池、松本、森、安居、安居（良枝）、渡辺、宮崎、戎本、吉岡（ゲスト）、武本（ゲスト）、以上26名。

今月の司会は合原さん、書記、関さん、デッキ係は田邑さん、受付増池さんで例会を進行しました。なお、今月は公開審査会ですので、作品の終了ごとの短評は行わず、次々と上映を行い最後に1人3票の持点で投票するという形式でのぞみました。作品ごとの短評は次の通り関さんよりまとめていただきました。デッキはノイズが出ていたのがすっきり修理され、美しい映像で上映されました。部品の一部を交換しました。修理代は約1万円でしたが、ヘッドの故障ではなく安くすみしました。

高野山撮影会始末記

担当 関 剛

去る5月30、31に実施された高野山一泊撮影会。初日は多少雨が残りましたが翌日は快晴に恵まれて撮影は快調でした。参加者18名で出品はなんと15本、かってない高出品率。会員諸氏の熱意の程がうかがえます。出席者全員で互選の結果、入賞者は次の通りです。

1位	霊場・高野山	前田茂夫さん
2位	高野山と女たち	安居良枝さん
同点2位	高野山	合原一夫さん
4位	高野山・無情有情	今井羨美さん
同点4位	高野山象	関 剛さん

出品の全作品を簡単に紹介します。

1. ◎高野山初夏 3分50秒 田邑芳潤さん
天気が悪かった初日の画面は全部捨て、晴天だった二日目の映像でまとめられました。例によってノンリニア編集、すかっと鮮やかな画面に圧倒される思いです。
2. ◎高野山と弘法大師 9分 安居利次さん
奥さんとの掛け合い問答にも似たナレーションが効いています。高野山開山にまつわる弘法大師の話や金剛峰寺のお坊さんの愉快的説明などもあり、楽しく拝見できました。
3. ◎造形の美 6分20秒 松本 昭さん
この作者 二日目の晴天下の映像に集約されました。伽藍の構造物を作者独自の視点で撮られた作品。アップ主体の構図がみごとです。
4. ◎高野山と女たち 9分40秒 安居良枝さん
なぜ高野山が女人禁制か。実は俗界で女ともめごとをもった男たちの格好の逃げ場所。つまり男がつくった身勝手な規制。と、まことに面白い歴史の新解釈。たしかに説得力があります。不自由なお体でよくぞここまで作られたと感心しました。
5. ◎高野山静と動 6分23秒 奥 宏さん
奥之院の霧の斜光から始まる崇高な映像です。後半はお祭り風景、ここにもねぶた祭に似たものがあるとは驚きました。再度撮影に行かれたようでその熱意に頭が下がります。
6. ◎高野山・無情有情 6分30秒 今井羨美さん
やや重々しい女性のナレーションとともに楽曲化された般若心経が流れ、最高に盛りあがっていきます。高野山特有の雰囲気大切に表現された秀作。
7. ◎霊場・高野山 9分50秒 前田茂夫さん
みごとな撮影技術と編集テクニック。たんとしたナレーションが信仰の山、高野山の魅力をあますところなく伝えています。互選の最高点獲得作品。
8. ◎高野山 6分24秒 金子博泰さん
琵琶の曲とともに苅萱堂の中がクローズアップされ数枚の絵が出ます。伽藍や諸大名の墓地ではなく、むしろ苅萱と石動丸の悲劇の物語に重点に置いた作品。
9. ◎静寂と鐘 6分20秒 渡辺雄史さん
ナレーションやBGMを省き、聞こえるのは鳥のさえずりと鐘の音だけ。観光客をいっさい入れずに撮るのは至難の技です。高野山のもうひとつの顔「静寂」をみごとに描いた異色作。これを理解する人が全くいないとは情けない気がします。

10. ◎霊地巡礼 7分10秒 有村 博さん
1カット1カットを吟味して撮影された珠玉の映像。そして、これこそ画と音の饗宴。非常に印象に残る作品です。なぜ評価されないのか得点の低さに不満を感じました。
11. ◎高野山 10分 森保信さん
姫神の曲にのって素晴らしい構図が続きますが、後半は楽しいお祭り。巡礼姿のおばさん達の盆踊りがなんとも滑稽。森さんも再度撮影に行かれたようでご苦労さまでした。
12. ◎高野山 13分05秒 合原一夫さん
集まった15本の中で最も長編。例ののどかな合原節とともにその見応えのある映像は観光ビデオとしても立派に通用するものです。
13. ◎高野山 12分 増池 茂さん
堂塔伽藍の計算し尽くされたような優れた構図、ただただ圧倒されました。奥の院もこの調子で行けばいいのに、と感じたのが正直なところです。
14. ◎高野 5分20秒 江村一郎さん
江村さんならではの視点で撮られた映像、そして小気味よいカツティング。この優れた作品の得点がたったの4ポイントとは以外でした。評価する人が少なく残念です。
15. ◎高野心象 7分50秒 関 剛さん
間違っても観光ビデオにたくない、そのこだわりで組み立てた映像。野積みされた無縁仏を見て世の無常感を表したつもりですが、力不足でした。

以上撮影会作品の互選を終えたところで時間になり、一般作品を持参された方もおられたようですが来月のお楽しみということで例会終了、飲み屋と喫茶店組それぞれに別れて散会しました。

■東京アマチュア映像祭・ビデオ映像コンテストには全国から170本の作品が寄せられましたが、関西からはOMC会員の次の3氏が入賞しました。
なお、作品は来る9月27日(日)東京・江戸博ホールで公開されます。

- | | | | |
|-------|-----------------|--------|-------|
| ・最優秀賞 | 「ベトナムの女達」 | 合原一夫さん | 9分50秒 |
| ・入賞 | 「パロディ・合唱」 | 関 剛さん | 6分10秒 |
| ・入選 | 「Another Dream」 | 有村 博さん | 4分20秒 |

以上ご報告します。